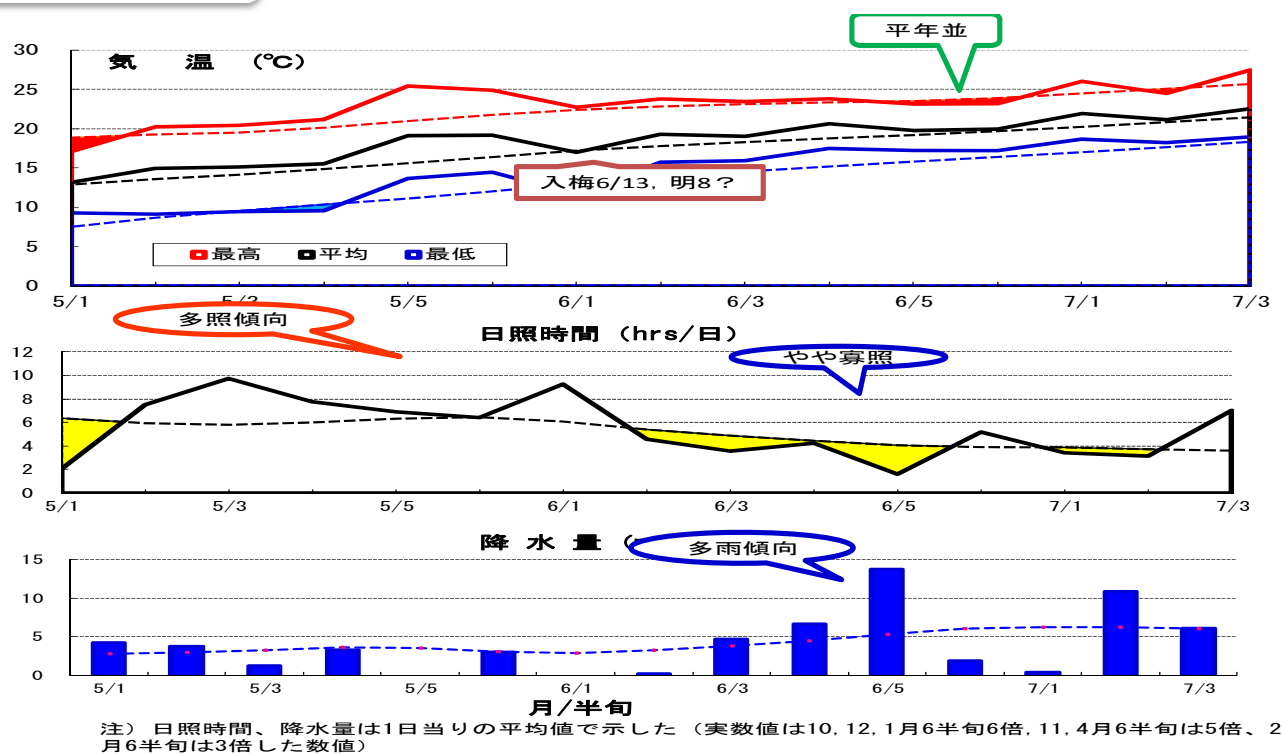


～～概ね順調な生育，梅雨時の排水対策や中耕培土の徹底を～～

1 気象経過



- ・5月から7月中旬までの気温は、ほぼ平年並み～やや高温に経過している。
- ・5月は多照で、6月がやや寡照気味であるが、7月上旬は、並～やや多照傾向である。
- ・降水量は、播種の5月下旬が並～少雨傾向で、6月入梅以降は断続的に降雨があり、やや多雨となっている。
- ・播種後、気温の高い日が多く(6月の日平均気温平年差+0.8℃)、日照時間が平年並(6月の日照時間平年比96%)であった。

2 生育状況

〔出芽と生育状況〕

表1 出芽状況

品種名	播種期 (月/日)	出芽期 (月/日)	出芽日数		
			本年	前年差	平年差
タンレイ	5/24	5/30	6日	-2日	-2日
あやこがね	5/24	5/31	7日	-1日	-1日
タチナガハ	5/24	5/31	7日	-2日	—
ミヤギシロメ	5/24	5/31	7日	-2日	-1日

- ・播種後は気温の高い日が続き、適度な降雨があったことから、出芽日数は6～7日間で、平年及び前年より1～2日早くなった。

表2 7月5日付け調査結果

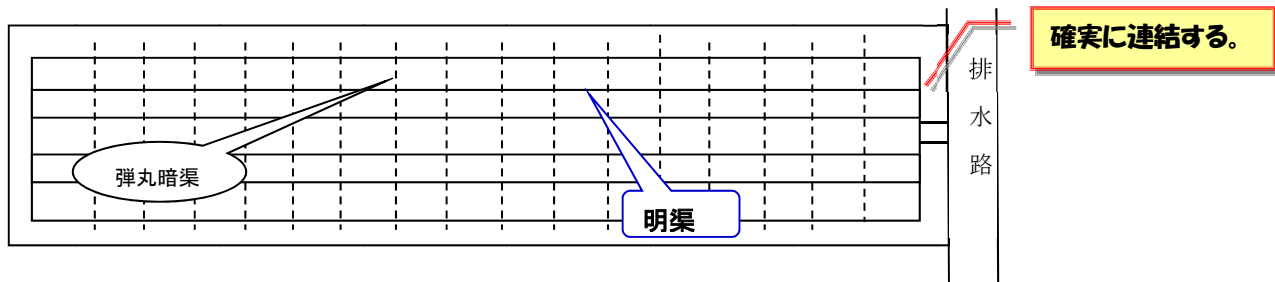
播種期	品 種 名	主 茎 長			主 茎 節 数			分 枝 数			総 節 数		
		本年値 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年値 (節/本)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年値 (本/本)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年値 (節/本)	前年比 (%)	平年比 (%)
	タンレイ	35.0	123	134	8.5	105	113	1.7	149	255	13.1	116	132
標播	あやこがね	29.3	111	129	8.2	97	105	0.8	68	114	10.7	91	102
(5/25)	タチナガハ	29.9	169	—	8.3	123	—	0.8	300	—	10.6	135	—
	ミヤギシロメ	32.2	129	128	8.5	109	107	0.5	87	83	10.3	100	100

- ・主茎節数は、8.2節～8.5節で概ね前年及び平年より並～やや多い。
- ・主茎長は、30cm～35cmで平年より長く、やや徒長傾向と思われる。
- ・分枝数は、タンレイで平年より多く、ミヤギシロメでやや少なかった。

3 今後の管理

(1) 排水対策の徹底

- ・梅雨明けが8月にずれ込むとの情報や「**低温に関する異常天候早期警戒情報**」(東北地方)が出されており、明渠や弾丸暗渠等を再度点検し、湿害回避技術を徹底する。
- ・弾丸暗渠は2～3m間隔を目安とし、本暗渠と交差させ表面面からの排水を図る。
- ・深さ20～30cmの明渠を額縁状に圃場周辺と圃場内に設置し、確実に排水路までにつなぐ。



(2) 中耕培土の適期実施

- ・生育期間中は、適切な中耕培土や除草剤の体系的処理で雑草対策を徹底する。
- ・梅雨時期であり、降雨の合間を縫って可能な限り、中耕培土を実施する。



梅雨時期で明渠設置も多雨時帯水



畦畔から水田に進入した外来アサガオ